

研究会開催通知

(昭和56年11月15日～12月31日)

研究会	日	時	会場	備考
ソフトウェア工学	11月16日(月)	13:30～17:00	機械振興会館	前号参照
コンピュータビジョン	11月19日(木)	13:30～17:30	工技院筑波研究センター	同上
自然言語処理	11月20日(金)	10:00～16:00	武蔵野通研	同上
人工知能と対話技法	11月26日(木)	13:30～17:00	京大	同上
電子装置設計技術	12月15日(火)	13:30～17:00	機械振興会館	下記参照
日本文入力方式	12月16日(水)	13:30～17:00	同上	同上
マイクロコンピュータ	12月18日(金)	13:30～17:00	第32森ビル	同上

◆ 第11回 電子装置設計技術研究会 (発表件数: 4件)

(主査: 山田昭彦, 代表幹事: 上田 勤, 和田 康)

日時 昭和56年12月15日(火) 午後1時半～5時

会場 機械振興会館 地下3階1号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211]

議題 (1) 論理図編集入力システム MELSES

小栗澄男, 村井真一 (三菱電機)

[概要] 論理図をグラフィック・ディスプレイ上で編集し, 設計データベースへ入力するシステムについて述べる.

(2) 信号線の属性を考慮したチャンネル・ルータ

石井 真, 原田敬子, 井戸幸彦, 小山正弘, 井上隆秀 (ソニー)

[概要] 優先順位を持つ2層配線プロセスに適應し, 電源線等ネットの属性の持つ制約を考慮したチャンネル・ルータの紹介.

(3) データフロー計算によるコンカレント故障シミュレーション

中田恒夫 (東大・工)

[概要] データフロー計算機 TOPSTAR-II 上でコンカレント故障シミュレーションを行った結果, ノイマン型計算機に比べ, 高速に実行できることが確認された.

(4) コンパクトテストを用いたメモリの組込み検査法

樹下行三 (広大・総合科学)

[概要] メモリセルおよびデコーダ故障に対する検査系列生成回路と圧縮関数および判定機構をメモリ内に組込んだ, メモリの組込み検査法について述べる.

◆ 第2回 日本文入力方式研究会 (発表件数: 3件)

(主査: 高橋秀俊, 代表幹事: 藤崎哲之助, 山田尚勇)

日 時 昭和56年12月16日(水)午後1時半～5時
会 場 機械振興会館 地下3階2号室(所在地は前記参照)
議 題 (1) かなキーボードにおけるかな配列方式

亀山正俊, 渡辺 治, 大川清人(三菱電機)

〔概要〕 文節分かち書き入力によるかな漢字変換に適したかなキーボードのかな配列方式について述べる。

(2) タブレット用文字盤の構成法に関する検討

斎藤珠善(横須賀通研)

〔概要〕 タブレットの操作性評価に基づいて、文字盤構成の基本要因を整理し、索字の容易な文字配列の具体例を示す。

(3) タッチタイプによる日本文入力方式

平賀 譲, 小野芳彦, 山田尚勇(東大・理)

〔概要〕 タッチタイプの人間工学的解析をもとにした日本文入力方式(Tコード)とその評価について報告する。

◆ 第19回 マイクロコンピュータ研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 森 亮一, 代表幹事: 阿草清滋, 内堀義信, 岡田義邦)

日 時 昭和56年12月18日(金)午後1時半～5時
会 場 第32森ビル 地下2階第一会議室

〔東京都港区芝公園 3-4, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, 機械振興会館並びに浜松町寄り徒歩1分, 東京タワー向い. Tel. 03 (591) 1351 (大代表)〕

議 題 (1) MC 68000 アドレス空間の問題点と構成方式

武部桂史, 鶴澤繁行, 中川正樹, 阿刀田央一, 高橋延匡(農工大・工)

〔概要〕 MC 68000 のアドレス空間の問題点を指摘し、アーキテクチャとオペレーティングシステムとの関連について考察し、構成方式を比較し一方式を提案する。

(2) エディタ・コマンドの標準化への提案

内堀義信(電総研)

〔概要〕 テキスト・エディタのコマンドについて、使い易さの観点から検討を行い、標準化への布石とする。

(3) マイクロプロセッサシステムに関する標準化動向

田島守彦(電総研), 森 亮一(筑波大・電子情報)

〔概要〕 IEC-SC 47 B の活動を中心として、マイクロプロセッサに関する標準化動向を述べる。

◆ ソフトウェア工学研究会

今年度最後の研究会を下記のとおり開催いたします。発表ご希望の方は11月25日までに、発表題目と50字以内の概要を添えて、学会事務局研究会担当までお申込み下さい。

期日 昭和57年2月9日(火)～10日(水)

場所 大阪大学基礎工学部

主題 ソフトウェア工学全般にわたり、特に生産活動における人間的要素または製品のユーザ親和性に注目した報告を歓迎します。

◆ 記号処理研究会

57年3月に「知識工学と記号処理」というテーマで、人工知能と対話技法 研究会と合同の研究会を東京で開催します。発表希望者は学会事務局研究会担当まで、12月中にお申込み下さい。

シンポジウム「マイクロコンピュータソフトウェア技術」 開催のお知らせ

一次世代のパーソナルコンピュータを中心として一

世はまさにパーソナルコンピュータフィーバの観があります。現在の主流は8ビット系ですが、高機能16ビット、32ビットプロセッサの出現により、マイクロコンピュータは新しい展開をしつつあります。こうした事実を踏まえ「マイクロコンピュータ研究会」では、オフィスオートメーションに代表される将来の情報化社会の先兵と考えられる次世代のパーソナルコンピュータを中心として、マイクロコンピュータのソフトウェア技術をとりあげ、これに関して各方面でご活躍中の研究者を集めて、シンポジウムを開催いたします。

日 時 昭和57年2月1日(月)、2日(火)
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)
参加費 会員 10,000円、非会員 15,000円、学生会員 5,000円
申込締切 昭和57年1月18日(月)

~~~~~ プログラム(仮題) ~~~~~

第1日 2月1日(月)

シンポジウムを開催するにあたって(9:00~9:10) 森 亮一(筑波大)

総 論

- ・パーソナルコンピュータの展望(9:10~10:10) 石田 晴久(東大)
- 休憩(10:10~10:20)——

オペレーティングシステム

- ・パーソナルコンピュータ用OSの在り方(10:20~11:20) 野村 浩郷(武蔵野通研)
- ・実時間制御のための分散OS(11:20~12:20) 塚本 享治(電総研)
- 昼食(12:20~13:20)——

言 語

- ・パーソナルコンピュータとAda(13:20~14:20) 和田 英一(東大)
- ・述語論理型言語PROLOGと問題解決への応用(14:20~15:20) 古川 康一(電総研)
- 休憩(15:20~15:40)——
- ・ユーザ志向言語のあり方とPIPSの開発(15:40~16:40) 望月 宏(コーネル大)

第2日 2月2日(火)

- ・パーソナルコンピュータへのLISPの実装(9:20~10:20) 英 憲悦(マイクロコミュニケーションズ)

ソフトウェア開発

- ・問題表現図式とその応用(10:20~11:20) 二村 良彦(日立)
- 休憩(11:20~11:30)——
- ・マイクロコンピュータ複合体上でのFORTHの開発とグラフィクスへの応用(11:30~12:30) 久保 正敏(京大)
- 昼食(12:30~13:30)——

標準化

- ・ローカルネットワーク関連の標準化動向(13:30~14:30) 森野 和好(電電公社)
- 休憩(14:30~14:50)——
- ・マイクロコンピュータシステムに関する標準化動向(14:50~15:50) 田島 守彦(電総研)

受付 No. _____

昭和 年 月 日

シンポジウム「マイクロコンピュータソフトウェア技術」
参加申込書^(注1)

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員^(注2) 10,000 円

非会員 15,000 円

学生会員 5,000 円

○送金方法

_____円を 月 日送金します (金額, 送金月日を記入の上該当する
送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (同封)

b. 銀行振込 第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945 三菱銀行虎ノ門支店 0000608
住友銀行虎ノ門支店 (東京公務部) 10899 三井銀行本店 4298739
富士銀行虎ノ門支店 993632
名義人 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。 (No. _____)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

その他 (連絡事項をご記入下さい)

(注) 1. 申込書は1枚1人として下さい。(この用紙をコピーしたもので可)

2. 本学会賛助会員は1口1人として正会員に準じます。

「アドバンスト・データベース・システム」シンポジウム

—設計・診断・研究開発・意思決定のツールとして—

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願い致します。

日時 昭和56年12月9日(水)、10日(木) 9:00~17:00
場所 機械振興会館大ホール(地下2階)
懇親会 12月9日(水) 17:30~(6階65号室)(参加費3,000円、当日14時まで会場にて受付可)
参加費 会員 10,000円、非会員 15,000円、学生会員 5,000円
申込締切 昭和56年11月30日(月)(申込書は「情報処理」9月号にあります)

~~~~~ プログラム ~~~~~

- 第1日 12月9日(水)** (発表はすべて日本語で行います)
- ・Opening address (9:00~9:10) 酒井 博敬 (日 立)
 - ・Keynote address (9:10~10:10)
「アドバンスト・データベースへの期待」 大須賀節雄 (東 大)
Session 1. Requirements (10:10~11:50) 座長 有澤 博
・思惟工学よりみたアドバンスト・データベース・システム 神沼 二真 (臨床医学研)
・Design and implementation of a database system based on the multi-layer logic
宇田川佳久, 大須賀節雄 (東 大)
 - 昼食 (11:50~12:50)
 - Session 2. Database Design (12:50~14:40) 座長 酒井 博敬
・Entity-Association モデルを用いたデータベース設計 有澤 博 (横浜国大)
・Sentential database design method 穂鷹良介(筑波大), 椿 正明(日本システムックス)
 - 休憩 (14:40~14:50)
 - Session 3. Support System (14:50~17:00) 座長 吉田 郁三
・Design and application of data dictionary/directory system
池田 秀人(筑波大), 石原 亘, 小林 康幸(広島大)
・データベースのバッチ変換システム 米田 茂, 吉田 郁三(日 立)
・The design and implementation of QR, a quick response report writer
Chung Le Viet (HDR systems), 武田 浩一(京大), George Haddix (HDR systems)
- 第2日 12月10日(木)**
- Session 4. Geographic & Medical Database (9:00~10:40) 座長 穂鷹 良介
・A geographic database system for supporting spatial analysis
霧谷 建之, 笠原 裕, 灘波田 愈(日 電)
・歯科矯正学診断サポートシステムの設計 金森 吉成, 増永 良文(東北大)
 - 休憩 (10:40~10:50)
 - Session 5. Engineering Database (10:50~12:30) 座長 大須賀節雄
・非量産機械製品用 CAD/CAM データベースの事例
佐々木泰生, 山田幸男, 別所寛躬(日 立)
・Database for system building
宇野 栄, 松家 英雄(日本 IBM), 山田 照雄, 兼子 卓爾(東大・[現]清水建設)
 - 昼食 (12:30~13:30)
 - Panel discussion (13:30~17:00) 司会 酒井 博敬
「設計・診断, 研究開発, 意思決定のツールとしてのデータベース・システム」
パネリスト: 宇野 栄(日本 IBM), 大須賀節雄(東大), 上林弥彦(京大),
藤原 譲(筑波大), 真名垣昌夫(日電), 三浦孝夫(三井造船)

情報処理学会第 24 回全国大会について

—概要と論文募集要領—

第 24 回全国大会を下記により開催します。論文発表を希望される会員は、下記要領により、早目にお申込みください。

開催期日 昭和 57 年 3 月 22 日(月)～24 日(水)

会 場 東京電機大学 7 号館 (東京都千代田区神田錦町)

応募資格 本学会個人会員 (正会員, 学生会員) に限ります。共同発表の場合には、登壇発表者は会員でなければなりません。ただし、登壇発表は本大会中 1 人 1 回に限ります。また、発表は日本語または英語で行うものとします。なお、56 年度会費未納の会員は、登壇発表ができません。

申 込 料 不要です。ただし、登壇発表される方は、論文集原稿を提出する際に、必ず参加費を納入してください。

申込方法 添付の講演申込用紙 (1 件 1 枚) に必要事項を記入し、宛先明記の原稿用紙送付用封筒 (大きさ A 4 判・21cm×30cm のもの。切手は不要) を同封のうえ、56 年 11 月 25 日(水)までに (必着)、下記申込先へお送りください。

論文提出 所定の原稿用紙を 12 月下旬に送付しますので、昭和 57 年 2 月 1 日(月)までにご提出ください。用語は日本語または英語に限ります。

その他 詳細については、決定次第本欄にてお知らせします。

申 込 先 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 308-3 号室
(社)情報処理学会 第 24 回全国大会係 電話 03(431)2808

論文該当分野

1. 基 礎

- a. 計算理論, b. アルゴリズム,
- c. プログラム理論, d. その他

2. アーキテクチャおよびハードウェア

- a. システムアーキテクチャ, b. 演算装置
- c. 記憶装置, d. 入出力装置, e. 端末装置,
- f. 性能評価, g. 信頼性, h. 保守技術,
- i. マイクロプログラミング,
- j. その他

3. ソフトウェア

- a. オペレーティングシステム, b. プログラミング言語, c. 言語処理, d. 性能評価
- e. 信頼性, f. ソフトウェア工学,
- g. その他

4. データベース

- a. データベースマシン, b. データマネジメント, c. 分散データベース, d. 性能評価,
- e. 情報検索, f. その他

5. コンピュータネットワークおよび分散処理

- a. システム, b. アーキテクチャ, c. プロトコル, d. 性能評価, e. その他

6. パターン処理および人工知能

- a. 文字認識, b. 画像処理, c. 自然言語理解, d. 音声, e. 人工知能・知識工学,
- f. ロボット, g. その他

7. 数値計算

8. マイクロコンピュータ

9. 日本語処理

- a. 文解析合成, b. 字づら処理・辞書,
- c. 入出力, d. その他

10. オフィスシステム

11. 技術, 産業への応用

- a. CAD, b. CAM, c. グラフィックス
- d. シミュレーション, e. その他

12. 経営・社会システムへの応用

13. その他

情報処理学会第 24 回全国大会講演申込用紙

題 目 (注1)				
ふりがな 氏 名 (所属) (注1)	申込者が複数の場合には左から右の順に記入し講演する方に○をつけて下さい。			
講演者会員番号				
原稿用紙送付先	(所在地) 〒 (氏 名) Tel.			
論文該当分野 (注2)	(1)	(2)	(3)	
(注1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないで下さい。 (注2) 全国大会案内の論文該当分野表を参照し、できるだけくわしい分野をご記入下さい。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。 (例 “ソフトウェア分野性能評価” の場合, 3 d と書く)				
講 演 内 容 (概要 300 字程度)				